

事務事業名	花火大会支援事業			担当	産業部 商工観光課 観光係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり		増補版施策名			
施策名	4	観光の振興		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和43 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠							
予算科目	1. 一般会計	7. 商工費	1. 商工費		3. 観光費		
事業概要	昭和43年に第1回の花火大会が開催された。昭和48年からは、花火大会実行委員会（真組）が五行川への神輿の川渡御の明け取りの附け祭りとして、花火大会を実施している。花火大会実行委員会は、夏祭り会連合会の傘下にある真組が主体に組織され、真岡の夏祭り（3日間）の中日の土曜日に、市役所東側の五行川付近を会場に実施している。打上花火数は2万発。 補助金については、運営費、会場経費の一部に充当している。 来場者の要望により平成29年度からトイレを10基増設した。 平成30年度は荒天（台風の影響）のため、翌日曜日に延期となった。 令和元年度は、第50回目の記念大会となるため内容の充実を図り補助金の増額が見込まれる。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 花火大会実行委員会（真組）の会議資料作成、関係機関等への申請事務及び通知発送事務、花火大会協賛金の募集及び集金事務 来場者の要望によりトイレ10基増設している。 31年度計画 第50回目の記念大会となるため実施内容の充実を図る。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 花火大会関係の会議開催日数</td> <td>日</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>イ 補助金額</td> <td>千円</td> <td>1,800</td> <td>1,800</td> <td>1,900</td> <td>1,900</td> <td>2,900</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 花火大会関係の会議開催日数	日	11	11	11	12	11	イ 補助金額	千円	1,800	1,800	1,900	1,900	2,900	ウ							エ							オ																																														
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																																																																		
ア 花火大会関係の会議開催日数	日	11	11	11	12	11																																																																																			
イ 補助金額	千円	1,800	1,800	1,900	1,900	2,900																																																																																			
ウ																																																																																									
エ																																																																																									
オ																																																																																									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 花火大会実行委員会（真組）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 花火大会実行委員会（真組）会員数</td> <td>人</td> <td>43</td> <td>40</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 花火大会実行委員会（真組）会員数	人	43	40	42	42	42	イ							ウ							エ							オ																																														
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																																																																		
ア 花火大会実行委員会（真組）会員数	人	43	40	42	42	42																																																																																			
イ																																																																																									
ウ																																																																																									
エ																																																																																									
オ																																																																																									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ふるさと意識の高揚と地域の連帯感を培い、花火大会の誘客を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 花火大会を含む夏祭り参加者及び見物客数</td> <td>人</td> <td>250,000</td> <td>270,000</td> <td>300,000</td> <td>250,000</td> <td>300,000</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 花火大会を含む夏祭り参加者及び見物客数	人	250,000	270,000	300,000	250,000	300,000	イ							ウ							エ							オ																																														
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																																																																		
ア 花火大会を含む夏祭り参加者及び見物客数	人	250,000	270,000	300,000	250,000	300,000																																																																																			
イ																																																																																									
ウ																																																																																									
エ																																																																																									
オ																																																																																									
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 真岡の知名度アップと観光客の誘客が図られる。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 真岡市を訪れた観光客数</td> <td>人</td> <td>2,865,612</td> <td>2,912,127</td> <td>2,900,649</td> <td>2,957,327</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,865,612	2,912,127	2,900,649	2,957,327	3,000,000	イ							ウ							エ							オ																																														
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																																																																		
ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,865,612	2,912,127	2,900,649	2,957,327	3,000,000																																																																																			
イ																																																																																									
ウ																																																																																									
エ																																																																																									
オ																																																																																									
(2) 総事業費の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">投入量</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>1,800</td> <td>1,800</td> <td>1,900</td> <td>1,900</td> <td>2,900</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>1,800</td> <td>1,800</td> <td>1,900</td> <td>1,900</td> <td>2,900</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>1,006</td> <td>997</td> <td>996</td> <td>1,001</td> <td>1,001</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>2,806</td> <td>2,797</td> <td>2,896</td> <td>2,901</td> <td>3,901</td> </tr> </tbody> </table>										単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	投入量	事業費	財源内訳						国庫支出金	千円	0	0	0	0	県支出金	千円	0	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	その他	千円	0	0	0	0	一般財源	千円	1,800	1,800	1,900	1,900	2,900	事業費計(A)	千円	1,800	1,800	1,900	1,900	2,900	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	延べ業務時間	時間	240	240	240	240	人件費計(B)	千円	1,006	997	996	1,001	1,001	トータルコスト(A)+(B)		千円	2,806	2,797	2,896	2,901	3,901
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																																																																		
投入量	事業費	財源内訳																																																																																							
		国庫支出金	千円	0	0	0	0																																																																																		
		県支出金	千円	0	0	0	0																																																																																		
		地方債	千円	0	0	0	0																																																																																		
		その他	千円	0	0	0	0																																																																																		
	一般財源	千円	1,800	1,800	1,900	1,900	2,900																																																																																		
	事業費計(A)	千円	1,800	1,800	1,900	1,900	2,900																																																																																		
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3																																																																																		
		延べ業務時間	時間	240	240	240	240																																																																																		
		人件費計(B)	千円	1,006	997	996	1,001	1,001																																																																																	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,806	2,797	2,896	2,901	3,901																																																																																		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等 <table border="1"> <tr> <td>①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？</td> <td>昭和46年より、花火大会実行委員会（真組）が五行川への入水神輿の明け取りの附け祭りとして、花火大会を実施した。</td> </tr> <tr> <td>②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？</td> <td>花火と音響・レーザー光線の組み合わせによる、近代的な花火大会に変更して打ち上げ時間を短縮して実施している。また、花火大会は本市最大の観光イベントとして市民の間に定着している。 平成17年度からは、お祭り広場を同日に実施することにより相乗効果が生まれた。 平成23年度は、震災の影響により中止した。 新庁舎建設に伴い、夏祭り関連での庁舎の利活用について検討している。</td> </tr> <tr> <td>③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？</td> <td>桟敷席を設けて欲しい。 補助金の増額に関する要望がある。</td> </tr> </table>								①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和46年より、花火大会実行委員会（真組）が五行川への入水神輿の明け取りの附け祭りとして、花火大会を実施した。	②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	花火と音響・レーザー光線の組み合わせによる、近代的な花火大会に変更して打ち上げ時間を短縮して実施している。また、花火大会は本市最大の観光イベントとして市民の間に定着している。 平成17年度からは、お祭り広場を同日に実施することにより相乗効果が生まれた。 平成23年度は、震災の影響により中止した。 新庁舎建設に伴い、夏祭り関連での庁舎の利活用について検討している。	③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	桟敷席を設けて欲しい。 補助金の増額に関する要望がある。																																																																												
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和46年より、花火大会実行委員会（真組）が五行川への入水神輿の明け取りの附け祭りとして、花火大会を実施した。																																																																																								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	花火と音響・レーザー光線の組み合わせによる、近代的な花火大会に変更して打ち上げ時間を短縮して実施している。また、花火大会は本市最大の観光イベントとして市民の間に定着している。 平成17年度からは、お祭り広場を同日に実施することにより相乗効果が生まれた。 平成23年度は、震災の影響により中止した。 新庁舎建設に伴い、夏祭り関連での庁舎の利活用について検討している。																																																																																								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	桟敷席を設けて欲しい。 補助金の増額に関する要望がある。																																																																																								